



『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／えとぶん
こぐま社 (E-ニシマ)

空からふわりと降ってきた白い布でうさぎが作ったワンピース。さっそくそれを着て「ララランロロン」と鼻歌を歌いながら歩いていくと、白いワンピースはお花畑ではお花模様に、雨が降ってくると雨の模様になりました。

ワンピースの模様が次々に変わっていく様子が見どころです。



『わにわにのおふろ』

小風 さち／ぶん
山口 マオ／え
福音館書店
(E-ヤマグ)

わにわにはおふろが大好き！湯ぶねにあひるのおもちやを浮かべたり、バケツをかぶってシャワーのマイクで歌を歌ったり。泡ぶくぶくで体を洗った後は、おふろにしっかりつかってタオルで拭きます。

この他にも、わにわにが料理をしたり、お祭りに行ったりする絵本が4冊出ています。

* その他おすすめの本 *

『とんとんとめてくださいな』

こいで たん／ぶん こいで やすこ／え
福音館書店 (E-コイデ)

『きょだいなきょだいな』

長谷川 摂子／作 降矢 なな／絵
福音館書店 (E-ブリヤ)

『ももたろう』

長谷川 摂子／文 はた こうしろう／絵
岩波書店 (E-ハタコ)

『パンやのくまさん』

フィービ・ウォージントン／さく・え
セルビ・ウォージントン／さく・え
まさき りこ／やく 福音館書店 (E-ウオジ)

『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え
まさき りこ／やく 福音館書店 (E-エッツ)

『てぶくろーウクライナ民話』

エフゲーニ・ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店 (E-ラチョ)

あかちゃん えほん 【おはなし】



* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、物語を楽しむようになった赤ちゃんにおすすめの「おはなし」の絵本を紹介しています。赤ちゃんと一緒に「おはなしの世界を存分に楽しんでください。



『ぼくのくれよん』

長 新太／おはなし・え
講談社 (E-チヨウ)

ごろんと転がった大きなくれよん。これは、ぞうのくれよんです。ぞうが描いた大きい絵を、本物だと思った動物たちは…。ぞうは、もっとたくさんの絵を描きたいようです。次はどんな絵になるのでしょうか？

平成30年3月
編集発行：福島市立図書館 (TEL 531-6551)

【福島市立図書館】

- 開館時間
月～土：午前9時30分～午後7時
日：午前9時30分～午後5時30分
- 休館日：火曜日、館内整理日
- おひざにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 午前10時30分～

【福島市子どもライブラリー】

- 開館時間
毎日：午前9時30分～午後7時
- 休館日：火曜日
- おひざにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日
午前11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせください。



『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか／さく・え
なかの まさたか／レタリング
福音館書店 (E-ナカ)

今日はいい天気。ぞうくんは散歩にでかけます。途中で出会ったかばくん、わにくん、かめくを次々に背中に乗せてみんなで一緒にお散歩です。ところがぞうくん、足取りがちよっと危なげです…。

ゆっくりほのぼのとした会話と、その後の急展開に注目です！



『いっすんぼうし』

いしい ももこ／ぶん
あきの ふく／え
福音館書店(E-アキノ)

むかし、あるところに、親指ほどの大きさのあかんぼうがうまれ、いっすんぼうしとなづけられました。

やがて、いっすんぼうしはおわんをかさに、はしをつえに、はりをかたなにしてみやこをめざす旅に出たのでした。

美しい日本語と絵で楽しめる昔話です。



『おおきなかぶ』

内田 莉莎子／再話
佐藤 忠良／絵
福音館書店(E-サトウ)

おおきなかぶができました。あまりにおおきいので、おじいさん1人では抜けません。そこで、おばあさん・まご娘・いぬ・ねこ・ねずみが手伝いにやってきます。

かぶをひっぱる時の「うんとこしょどっこいしょ」というかけ声を、子どもと一緒に口ずさみながら読むのも楽しいです。



『はらぺこあおむし』

エリック・カール／さく
もり ひさし／やく
偕成社(E-カリエ)

日曜日に生まれたあおむしくんは、おなかがぺっこぺこ。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日にはなしをふたつ、水曜日には…。次々と食べ続けますがまだまだぺっこぺこ。一週間経つとようやくおなかも満たされて、大きなふとっちょあおむしになりました！
数や曜日の認識が織り込まれた、穴あきしかけ絵本です。



『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス／さく
わたなべしげお／やく
偕成社(E-ハッチ)

めんどりのロージーが、おさんぽにでかけました。池の周りや塀のすきま、蜂の巣箱の下を、すたすた、すいすい歩いていきます。

あれあれ？そんなロージーの後ろを、誰かがついてくるみたい。一体どうなるのかな？



『だんごころころ』

松谷 みよ子／ぶん
和歌山 静子／え
童心社(E-ワカヤ)

むかしむかし、ばあさまがだんごを作っていたら、だんごがひとつ、ころころと土間のすみっこの穴に落ちてしまいました。

だんご だんご どこへいく？

だんごを追いかけて、ばあさまも穴に飛び込みました。落ちた先にいたのは…。



『三びきのやぎの がらがらどん』

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店(E-ブラウ)

草を食べに山へ出かけた、3びきのやぎの がらがらどん。しかし、山へ行くためには、大きなかいぶつトロールが住む橋を渡らなければなりません。小さい がらがらどんから1びきずつ渡ることになりましたが…。

3びきは、無事に山にたどりつけるのでしょうか。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん
マーク・シーモント／え
きじま はじめ／やく
福音館書店(E-サイモ)

雪が降り積もる冬の間、のねずみも、くまも、かたつむりもみんな眠っています。ある時、目を覚ましたみんなは、はなをくんくん。何かのにおいに気がついて、駆けだしていきます。そして、たどり着いたところには…？



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく
いわた みみ／やく
ほるぶ出版(E-ボンス)

小さいちびゴリラのちびちびのことが、お父さんもお母さんも森の動物たちもみんな大好き。それはちびちびが大きくなっても変わりません。

ちびちびを周りの大人たちが可愛がり見守っている、心温まるお話です。読んでいる子どもも安心感を得られる本です。